

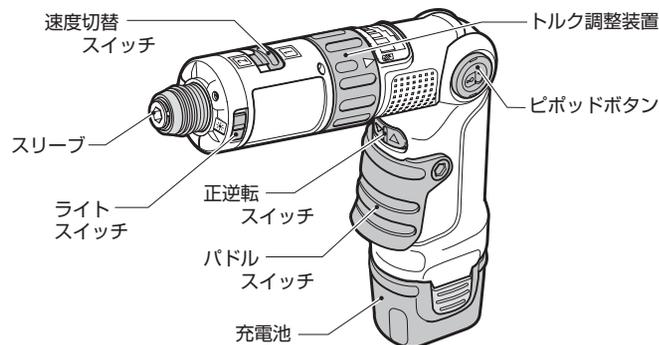
DEWALT®

デウォルト電動工具 取扱説明書

DC600

コードレススクリュードライバースセット

製品の各部名称と仕様



こだわりのデウォルト... 強靱な作業場を提供します。

デウォルトブランドの高品質・耐久性は現在、世界各国で圧倒的な支持を獲得しています。デウォルト電動工具は1923年アメリカ合衆国、レイモンド・デウォルトによって最初の卓上スライド丸ノコが開発されました。以来、石工、木工、金工用工具を問わず多数の工具を提供し、その耐久性はあらゆる作業場の要望にお応えし、満足していただいています。すべての工具はハイテクを駆使した弊社製造技術のもとに作られ、また出荷前の品質管理には万全を期しています。強靱な耐久性、作業の確実性、ハイパワーを作業場でお楽しみください。

仕様

品番	DC600
電圧	DC3.6V
回転数(回転/分)	200・600 min ⁻¹
締付トルク※	6N・m (61.2kgf・cm)
能力	クラッチ設定 8段階 木工穴あけ ϕ 3mm ネジ締め ϕ 4.1mm×30mm
六角軸二面幅	6.35mm
ビット取付部 深さ	13mm
質量(充電電池含む)	0.7 kg

※締付トルクは「ロックトルク」方式で測定された値を表示しています。
この方式は製品を完全に測定器に機械的に保持し、回転トルクを計測する方法です。

目次

製品の各部名称と仕様	1
安全上のご注意	2
警告（電動工具を安全にお使いいただくために）	2
注意（電動工具を安全にお使いいただくために）	3
警告（スクリュードライバーに関する安全上の追加事項）	3
警告（ニカド充電電池と充電器に関する安全上の事項）	4
充電の手順	5
製品の特色と使用方法	6
メンテナンス	9
アフターサービスについて	9
充電電池と環境	9
アクセサリ	9

安全上のご注意



警告

正しく安全にお使いいただく為に、ご使用前に必ずこの取扱説明書にある指示事項を全てお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られるように必ず保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

電動工具をお取扱いの際には、火災や感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示マークで区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「障害を負う可能性又は物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で説明しています。



このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。



警告 電動工具を安全にお使いいただくために。

この取扱説明書を大切に保管し、必要な時に備えてください。

◆作業場の環境について

- 明るく清潔で、乾いた場所で作業してください。散らかった作業場や作業台での作業は事故の原因になります。また、雨中や湿った場所など本体内部に水の入りやすいところでは使用しないでください。湿気はモーターなどの電気絶縁を低下させ、感電事故につながります。
- 危険物のまわりでは決して作業しないでください。通常、電動工具は使用中またはスイッチのオン・オフ時にスパーク（火花）が発生しますので、引火性の液体やガスのある場所の近くで使用しないでください。
- お子様を近づけないでください。お子様や外部の方、訪問者が電動工具に触れないようにしてください。作業場所は作業者以外、立入禁止にしてください。

◆個人的な警告事項

- 不用意なスイッチ・オンは決してしないでください。充電電池を本体に差し込む前に必ずスイッチ・オフの状態であることを確認してください。持ち運ぶ間はスイッチに手を触れないようにしましょう。スイッチが入ると不意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こす恐れがあります。
- 保護メガネや他の保護器具を必ず使用してください。飛散する切り粉から目を守るために保護メガネを必ず着用してください。ホコリが大量に出る作業では健康のためにも防じんマスクを併用してください。作業環境によっては耳栓、ヘルメット、手袋、安全靴の使用も必要です。

◆工具の使用と手入れ

- 加工材はしっかりと固定して作業してください。クランプや万力などで加工材を固定してください。手で保持するよりも安全ですし、両手で電動工具を使用することは安全につながります。
- スイッチが入らない、あるいは切れない場合は、ご使用を直ちに中止してください。スイッチの故障した電動工具は、不意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こす恐れがあります。所定のサービスセンターで修理してください。
- 電動工具の調節や刃物、ビット類の交換の際には、必ず充電電池を本体から外してください。また、必ずスイッチがオフであることも確認してください。こうした確認は不意に電動工具が作動して引き起こす事故を防止します。
- 指定の付属品、アタッチメントを使用してください。デウォルト社製工具への使用を推奨していない付属品やアタッチメントの使用は危険をとまなうことがあります。

注意 電動工具を安全にお使いいただくために。

◆電気に関する安全事項

- 電源コードを乱暴に扱わないでください。コードの部分を持って工具をぶら下げて持ち運んだり、コンセントから外す際にコードを引っばったりしないでください。感電やショート等の原因となるので、コードを熱いものや油、薬品類に接触させたり、鋭利なものでキズをつけないように注意してください。万一、誤ってキズをつけた場合はその箇所に手を触れず、直ちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。キズついたコードは火災を引き起こす危険性があります。
- 延長コードを使用する場合、電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードを使用してください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの最大長さ
0.75mm ²	20m
1.25mm ²	30m

◆個人的な注意事項

- 常に注意して作業を行なってください。電動工具を使用する際、取扱方法、作業の手順、周囲の状況などに十分注意し作業に集中してください。疲労時や飲酒、薬の服用時などには決して使用しないでください。使用時の集中力の欠如は重大な事故を引き起こす原因となります。
- キッチンとした服装で作業を行なってください。そで口の開いた服装や宝石類を身に付けてしないでください。電動工具の駆動部分に巻き込まれる恐れがあります。屋外で作業をする際には、滑り止めのついた履き物を着用することをお勧めします。長髪の方は作業の邪魔にならないように帽子などをかぶってください。
- 調整用キー、レンチ等は、使用時以外は必ず取り外してください。スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が全て取り外されているかどうか、常に確認する習慣をつけてください。
- 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足場を安定させ、バランスを保つようにしてください。無理な姿勢は、思わぬ事故を引き起こす原因となります。
- 電動工具に無理な力をかけないでください。電動工具は、機械本来の用途や負荷状態の限度内でご使用いただくのが基本です。また、所定の速度で使用することによって、仕上がりの良い安全な作業ができます。決してモーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。

注意 電動工具を安全にお使いいただくために。

- 使用していない電動工具はお子様や初心者の方の手が届かない乾燥したところに保管してください。電動工具はお子様や初心者の方には大変危険なものです。使用していない時は本体と充電電池を別々に保管することも心がけてください。

◆工具の使用と手入れ

- 作業にあった電動工具を使用してください。小型の電動工具やアタッチメントを大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。けがの恐れがあります。
- 指定された用途以外には使用しないでください。けがの恐れがあります。
- 損傷部品を点検してください。引き続き使用する前に、安全カバーやその他の部品に損傷がないか点検してください。また正しく動作するか、所定の機能が発揮されるかどうかを確認してください。可動部分の位置ずれや引っかかり、部品の破損、取り付け状態、その他に異常がないか点検してください。損傷した不良部品は、所定のサービスセンターで修理または交換してください。
- 電動工具と刃物類は、こまめに手入れをしてください。安全で効率の良い作業をしていただくために、刃物類はよく手入れをし、シャープな状態を保ってください。握り部は常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。電動工具は常に手入れのゆきとどいた状態で使用してください。

◆修理／メンテナンス

- 電動工具の修理は有資格技術者のみが行えます。修理、メンテナンス、調整は所定のサービスセンターの有資格者が行わなければなりません。
- 純正部品のみを使用してください。十分な能力を発揮するために、修理メンテナンス、調整は、純正部品のみを使用して行わなければなりません。

警告 スクリュードライバーに関する安全上の追加事項。

- 壁や床に穴をあける際には、内部の電気配線や配管に注意してください。感電や水漏れ、ガス漏れなどの事故を引き起こさないように十分調査してから作業を行なってください。壁裏などの通電中の配線を誤って切断した場合などに備え、二重絶縁されている本体のハンドル部分をつかんで作業を行なってください。通電中の配線に触れると、作業者が感電する危険性があります。
- 手を運転中の刃物に近づけないでください。運転中は絶対に刃物にふれたり、床などの上に置かないでください。作業は工具のハンド・グリップをしっかりとつかんで行なってください。手の指を刃物に近づけないように注意してください。

⚠ 警告 スクリュードライバーに関する安全上の追加事項。

- 刃物類はよく切れる状態を保ってください。切れない刃物の使用は、刃物が使用中にはずれたり、切断作業中に失速したりする原因となります。
- 木材の中には毒性の銅クロムヒ酸塩 (CCA) が含まれるものがあります。木材の穴あけ作業時、銅クロムヒ酸塩をあやまって吸い込んだり、肌にふれたりしないよう、細心の注意をはらってください。

電動工具のラベルには、下記のマークが含まれることがあります。

V	電圧
====	直流
□	二重絶縁
△	注意
no	無負荷状態でのスピード
○○○/min	1分毎の回転数

⚠ 警告 ニカド充電電池と充電器に関する安全上の事項。

◆下記の注意事項を全てお読みください。

- 充電器の定格電圧が電源と一致していることを確認してください。充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 充電器は屋内のみで使用してください。充電器を濡れた場所や、ちらかった場所では使用しないでください。特に水まわりの近くでの使用や、水の中に浸けたりしないでください。また、濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
- 電源コードが破損した場合は、直ちに使用を中止してください。破損したコードの交換が必要な場合は製造者、もしくはその代理店又は同等の有資格者のみに作業が許されます。
- 充電器が衝撃、落下、その他何らかの原因で損傷した場合には使用せず、所定のサービスセンターにお持ち込みください。
- 導電体の物を充電器の充電端子に接触させないように十分注意してください。充電器の充電端子には高電圧がかかっており、感電および感電死の恐れがあります。
- 充電電池の表面にひび割れや損傷がみられる場合は、絶対に使用しないでください。充電器に破損した充電電池を差し込むと、感電および感電死の恐れがあります。

⚠ 警告 ニカド充電電池と充電器に関する安全上の事項。

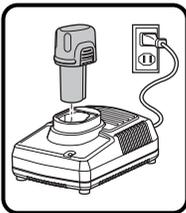
- 電源コードを乱暴に扱わないでください。コンセントから電源プラグをはずすときは、コードを引っ張らないでください。電源コードの位置に気をくばってください。コードを踏みつけたり、つまずいたりすると危険ですし、コードをキズつけることになります。
- 充電電池は換気のよい場所で充電してください。充電中は充電電池および充電器の上にものを絶対に置かないでください。また、柔らかいもの (例: 綿、スポンジ等の材質) の上に充電器を置かないでください。充電器の上部と底部に通気するための穴が切ってあります。穴をふさぐと、熱が充電器内にこもりたいへん危険です。充電器は熱のあるところをさけてご使用ください。
- 充電器を分解する試みは絶対にしないでください。修理/メンテナンスは、所定のサービス・センターに依頼してください。発火したり、異常動作してケガをする恐れがあります。
- 充電器をそうじする際、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。これは感電を防止するために必要な事項です。充電電池を充電器から抜くだけでは、感電の防止にはなりません。
- 充電電池を開ける試みは絶対にしないでください。充電電池本体にひびや傷へこみを発見した場合、再充電することなくすぐにご使用をおやめください。
- 周囲温度が+4℃以下、及び+40℃以上のときは充電電池の充電を行なわないでください。これは充電電池に重大な損傷をあたえるのを防止するために必要な事項です。
- 電動工具や充電電池を温度が50℃以上になる可能性がある場所 (金属の箱や夏の車内など) に保管しないでください。充電電池劣化の原因となり、発熱、発火の恐れがあります。
- 使用時間が極端に短くなったときは使用をおやめください。充電電池の液漏れ、発熱、破裂の恐れがあります。
- 充電電池がひどく損傷していたり完全に消耗していても、焼却しないでください。充電電池が火の中で爆発する恐れがあります。過度な使用や極端な温度状況のもとでは、わずかな量の液もれが充電電池から発生することがあります。もし外部シールが破れて漏れ出した液体が皮膚に触れた場合は:
 - * 石鹸と水で直ちに洗い落としてください。
 - * レモンジュースや酢などの弱酸性で中和してください。
 - * 電池液が目に入った場合は、きれいな水で少なくとも10分間洗い流してから、直ちに医師の診察を受けてください。(備考: この液体は水酸化カリウム25~35%溶液です。)

⚠ 警告 ニカド充電電池と充電器に関する安全上の事項。

- 充電電池の端子間を絶対にショートさせないでください。ネジ、刃物、くぎなどの金属が充電電池の充電用金属端子に接触してショートすると、発煙、発火、破裂などの恐れがあります。
- 充電電池の充電は専用の充電器のみで行なってください。誤った使用法は感電を引き起こしたり、充電電池を加熱させたり、液漏れなどを引き起こす原因となります。取扱説明書に記載してある充電器でのみ、充電電池を充電してください。
- 専用の充電電池でのみ本製品をご利用ください。他社製の充電電池での本製品のご使用は、火災を引き起こす危険性があります。取扱説明書に記載している充電電池でのみ、本製品をご使用ください。
- 使用しないときは、プラグをコンセントから必ずはずしておいてください。
- 「充電上の注意事項」を必ずよくお読みください。

充電の手順

◆充電のしかた（1時間充電器）



- (1) 充電器の定格板に表示してある電源と、コンセントの電源が一致していることを確認してください。家庭用電源のコンセントに充電器の電源プラグを差込んでください。
- (2) 充電電池を充電器の差込み口に差込んでください。充電電池がしっかりと差込み口にはまっているか確認してください。充電器が充電を始めると、赤い点滅灯が点滅しはじめます。これは、「充電中」を意味します。
- (3) 充電電池の充電は約1時間で完了します。充電が完了すると、点滅灯が光ったままになります。これは「充電完了」を意味します。

<リフレッシュ充電>（1時間充電器）

充電電池は充電および放電を繰り返すうちに、複数個ある内部セルの充電状態がそれぞれ不均一となり、本来持っている性能を十分発揮できなくなることがあります。リフレッシュ充電を行なうことにより、各セルの充電状態を均一化させ、本来持っている性能を発揮できるようにし、寿命を最大限に引きのばすことが可能です。充電電池を最適な状態に維持するためには、10回の充電ごとに1回または、1回の充電で以前と同様の作業が行なえなくなった時にはいつでもリフレッシュ充電を行なうこ

とをお勧めします。このリフレッシュ充電には約8時間を要します。リフレッシュ充電を行なうには、通常通りの充電が完了した後、充電電池を充電器から取り外さずにそのままセットしてください。リフレッシュ充電機能は次の順序で作動します。

- (4) 通常の1時間充電の完了後、自動的にリフレッシュ充電を開始します。（赤い点滅灯は点灯したままです）このリフレッシュ充電は最長約8時間または、各個別のセルの充電状態が均一化されるまで継続します。リフレッシュ充電中でも充電電池の充電は完了しておりますので、いつでも充電器から取り外してご使用頂くことができます。
- (5) リフレッシュ充電の完了後、充電器は自動的にメンテナンスモードに移行します。（赤い点滅灯は点灯したままです）メンテナンスモードではトリクル（微小）充電により常に充電電池を満充電の状態に維持します。ただし、メンテナンスモード中に充電器の電源プラグをコンセントから外した場合には、この機能は作動しません。充電電池は長時間放置したままにすると、少しずつ自己放電しますので、ご使用の前に充電を十分にしてください。

◆充電電池の過熱探知機能（1時間充電器）

充電電池が過度に熱くなるのを防止する機能をそなえています。充電電池が過度に熱くなった場合、充電器は一時的に充電を中止しますので、充電電池の寿命を最大限に引き延ばします。このとき、赤い点滅灯が1回長く点滅し、2回目に短く点滅することを繰り返します。充電電池の温度が下がった後、充電器は自動的に充電を再開します。

◆充電がうまく行われなときは

- (1) 電源コンセントに電灯などの他の電気器具を接続して、確実に電流が来ているかを調べる。
- (2) 電源コンセントが、壁の電源スイッチと連動しているか確認する。
- (3) 周囲温度が+4℃以上、および+40℃以下の環境下で充電を行なったか確かめる。
- (4) それでも充電されないときには、お買い上げの小売店にお買い上げの時のレシートなどと一緒にご持参のうえご相談ください。

△充電上の注意事項

- 充電中、充電器と充電電池は触れると暖かく感じるようになります。これは正常な状態であって、問題はありません。
- 充電電池を充電していないとき、充電器のプラグは電源コンセントからはずしておいてください。スチール・ウール（鉄綿）、アルミホイル、その他の金属切り粉等により、充電器の充電端子が短絡する危険性があります。また、これらの材質からはなれた場所で充電器を使用することを心がけてください。充電器のプラグは電源コンセントからはずした状態で、これら異物を取り払ってください。

- どんな液体も充電器内に入らないように気をつけてください。感電を引き起こす可能性があります。充電電池の冷却を容易にするため、ご使用の後、充電器と充電電池は高温になる場所で保管しないでください。
- NiMH（ニッケル水素）充電電池を充電される際は、ニッケル水素充電電池専用の充電器をご使用ください。
- 工具の力が弱くなってきたと感じたら、ただちに使用を中止し再充電してください。無理に使い続けると充電電池が傷み寿命を短くします。
- ご購入後最初の充電および長期間保存してあった充電電池は、内部化学物質の活性が十分でなく、その容量の80%程しか充電できないことがあります。その場合には充電および放電を数回繰り返すことにより、100%充電できるようになります。
- この充電器は、お客様がご自身で修理することはできません。ご自身で充電器を開けられると静電気が発生し内部部品が故障する可能性があります。かならず所定のサービスセンターに修理/メンテナンスを依頼してください。

製品の特徴と使用方法

△デウォルト社製ニカド充電電池は充電されていない状態で出荷されます。最初にご使用のときは、ご使用前に必ず充電を十分にしてください。

◆充電電池の取り付け方/取り外し



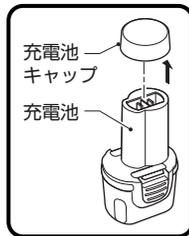
△充電電池を本機に取り付ける前に、必ずスイッチが切れている状態で安全ロックボタンがかかっていることを確認してください。

充電電池を本機に取り付けるとき、充電電池の向きが工具ハンドル部分下にある挿入口と合っていることを確認し、「カチン」としっかりはまるまで電池を差し込んでください。

△充電電池が十分充電されていることを確認してから本品をお使いください。

充電電池を工具から取り外すとき、充電電池の両側にあるリリース・ボタン2個を押したまま、充電電池を下に引きますと工具から外れます。

△充電電池を充電する際、「充電の手順」の項に従って実施してください。



充電電池をご使用にならない時は、常に付属の充電電池キャップを充電電池に装着して保管する様心がけてください。ご使用になるときは充電電池から充電電池キャップを取り外し、充電電池を本機に取り付けてください。上記の「充電電池の取り付け方/取り外し方」の指示に従って、充電電池の取り付けと取り外し作業を行ってください。

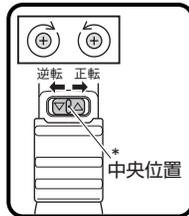
◆パドルスイッチ



左図のように、パドルスイッチを引くと作動します。またパドルスイッチを放せば止まります。

◆正/逆転ロックスイッチ

正/逆転ロックスイッチ*を左側から一杯に押すと正転します。ロックスイッチを右側から一杯に押すと逆転します。このスイッチを中央位置にセットしておく、パドルスイッチがロックされて作動しなくなります。使用しないときは、ロックをかけた状態にしておいてください。



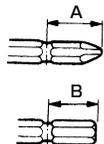
- ご使用前には必ず回転方向を確認してください。
- 正/逆転の切り替えは、モーターの回転が完全に停止した状態で行なってください。回転中に切り替えますと故障の原因になります。

ご使用に際し、各都道府県などの条例で定める工場でご使用になる場合には、周囲に迷惑をかけないよう各条例で定める騒音規制値以下であることが必要です。必要に応じて遮音壁を設けてください。

◆ビットの取り付け・取り外し方

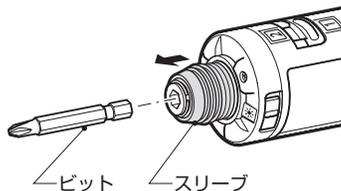
△作業の際には用途に適した、スクレイドライバー用と表示のある市販品を必ずご使用ください。

警告 ビットなどの取り付け・取り外しの際には必ず本体から充電電池を取り外してください。本体が作動して、けがの恐れがあります。

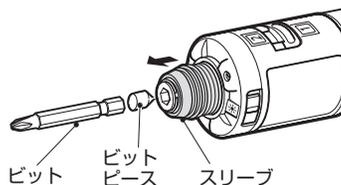


ビットのサイズ	ビットピース (別売)
A= 16mm B= 13mm	不要
A= 11mm B= 9mm	必要

●ビットピース不要の場合は、スリーブを矢印方向に引きビットを差し込み、スリーブを離してください



●ビットピースが必要な場合は、スリーブを矢印の方向に引きビットピース、ビットの順に差し込み、スリーブを離してください。



●取り外す場合は、取り付ける場合と逆の要領で行なってください。

△注意 ●ビットは奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不十分な場合スリーブが元の位置に戻らず、ビットの固定ができません。

●上記サイズ以外のビット、またはビットピースが必要なタイプにビットピースを使用せず無理に使用すると、作業中にビットが抜けたり、取り外しが固くなる場合があります。

◆ビボットボタン



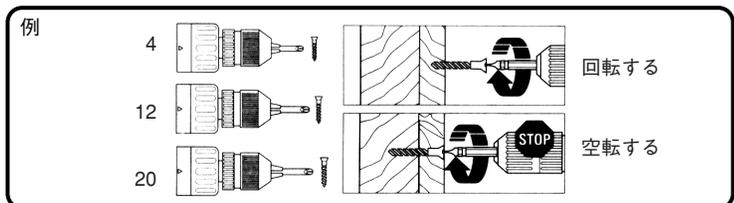
図のように、ビボットボタンを押すことにより、本体を3段階の角度に折り曲げて使用することができます。狭い場所での作業や、奥まった場所での作業環境に合わせ、本体をもっとも適した形状に調節し、3カ所いずれかのロックする場所で固定してください。

注意 角度調節の際は、折り曲げ部で指などを挟まれないように充分注意してください。

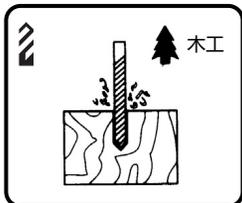
◆トルク調整装置



本機ではトルク（締め付けの強さ）を調整することによって、各々の作業に適した作業が行なえるようになっています。全部で8段階のクラッチ設定があります。クラッチは、トルク調整装置に記されている数字で設定します。小さなネジを締める簡単な作業の場合は、小さな数に設定します。時計回りにトルク調整装置を回していくと、得られるトルクが強くなります。その設定トルクを上回る力が機械にかかった時は内蔵されているクラッチが滑り、それ以上の無理な回転が行なわれずに空転させます。



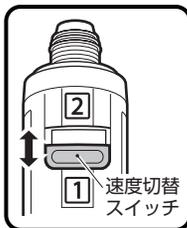
太いネジには高いトルク設定が必要ですが、細いネジにはあまり高いトルクはかえってネジを痛めたりします。何本かのネジ締めをする時に、最初の一本目でネジの頭が板とピッタリ平面になるところで回転が止まるようなトルクを見つけてそのトルクに設定しますと、二本目以後のネジ締めで平面を出すのが簡単になります。加工面を保護するためには、低いトルクで作業を開始してください。



深くネジを埋め込む作業や小穴開け作業には、“2”の位置にクラッチをセットしてください。この位置では、回転トルク調整装置が作動しません。

- (1) 本機をしっかりと両手で固定して穴あけ作業を行なってください。
- (2) 穴あけ作業中、作業物に対して真っ直ぐに力をかけてください。無理な力を作業物に加えないうでください。かえって作業効率が悪くなりますし、モーターやドリルビットを早く消耗させることにつながります。
- (3) 穴あけ作業中、負荷がかかりすぎ本機のモーターが回転しなくなることがあります。この場合直ちにパドルスイッチを切り、ドリルビットを作業物から抜いてください。そのまま作業を継続しますと本機の故障の原因となります。
- (4) 穴あけ終了後、ドリルビットを逆転させて抜くときには、本機を両手でしっかりと固定し、パドルスイッチを引いたままモーターが回転した状態で行なってください。
- (5) 穴あけ作業を開始する際ドリルビットの先端を作業目標にあてがい、パドルスイッチを引き作業を開始してください。
- (6) 鉄工穴あけの作業は、本機ではお勧め致しません。

◆速度切替スイッチ



本機は速度切替スイッチを2段階に調節することができ、段階毎に速度を調節することができます。図にあるように速度切替スイッチをポジション1（レバーを図のように見て下側に合わせる）に合わせて低速／高トルクの設定になり、ポジション2（レバーを図のように見て上側に合わせる）に合わせて高速／低トルクに設定されます。

△本機モーターの回転中に速度切替スイッチをスライドさせないでください。故障の原因となります。

△速度切替スイッチは正しい位置にセットしてご使用ください。ポジション1とポジション2の中間位置でご使用になりますと故障の原因となります。

◆締付作業上の注意

- 予備電池を利用して連続的に締付作業をする場合は、充電電池交換時に15分程度本体を休ませてからご使用ください。充電電池交換後すぐに作業を続けると、モーターおよびスイッチなどの温度が高くなり、焼損の原因になります。
- ネジ径にあったビットをご使用ください。サイズの異なった物を使用しますと適正な締付力が得られないだけでなく、ネジ頭部を損傷します。
- ネジに対して本体をまっすぐ保持してください。本体が斜めになるとネジ頭部を傷めたり、所定の締付トルクが伝わらない原因になります。
- 本体を保持する際は必要以上に押し付ける必要はありません。反力を押さえる程度で十分です。
- ネジの適正締付トルクは、ネジの材質・サイズ・締付場所の材質などによって異なりますのでネジに合った締付時間で作業してください。
- 締付時間が長過ぎると、ネジが伸びたり切断する原因になります。また、ビットなど工具類の寿命も短くなります。実作業の前には必ず何本か試し締めを行ない、適当な締付時間を把握してください。
- 締付トルクは下記の要因により変わってきますので、締付たネジが適正締付トルクになっているか、トルクレンチなどで必ず確認してください。

1. ビット

- 適正サイズのビットを使用しないと、締付トルクは低下します。
- 全長の長いもの、材質強度の弱いものは締付トルクが低下する場合があります。

2. 締付状態

- 締付物（鉄骨等）の座面の仕上がり、締付物どうしの状態によっても締付トルクは変化します。

3. 接続アダプタ

- ユニバーサルジョイントや各種アダプタなどを介して使用すると締付トルクが低下する場合があります。

メンテナンス

製品の掃除には、から拭き、水またはぬるま湯でうすめた中性洗剤を湿らせた布で表面を拭いてください。テレピン油、ペイント用シンナー等の薬品は使用しないでください。製品内部に液体が入らないように、また製品本体を液体に浸けないように十分注意してください。

アフターサービスについて

本機の修理、メンテナンス、調整は所定のサービスセンターにて行わなければなりません。かならずお買い上げの販売店または当社所定のサービスセンターまでご相談ください。修理の知識や技術のない方が修理を行ないますと、事故やケガの恐れがあります。

充電電池と環境



Ni-Cd

ニカド電池は
リサイクルへ

デウォルト社製コードレス電動工具に使用している充電電池はリサイクル可能な貴重な資源です。充電電池や製品の廃棄の際には、下記の手順に従いリサイクルにご協力ください。

- (1) 充電電池の寿命がなくなるまで使いきってから充電電池を交換する（ニカド充電電池には寿命があります）。
- (2) お買い求めの販売店または所定のサービスセンターにお持ちください。

アクセサリ

本製品用の付属品は各販売店もしくは所定のサービスセンターにて販売しております。また付属品やアタッチメントについてのお問い合わせは、マックス(株)までご連絡ください。

⚠ 当社の認定しない付属品やアタッチメントのご使用は、事故やケガの原因になる恐れがあります。ご使用にならないでください。



本社	営業本部	〒103-8502	中央区日本橋	箱崎町	6-6	TEL (03) 3669-8121
支店	支店	〒060-0041	札幌市中央区	大通東	6-12-8	TEL (011) 261-7141
支店	支店	〒984-0002	仙台市若林区	卸町東	2-1-29	TEL (022) 236-4121
支店	支店	〒103-8502	中央区日本橋	箱崎町	6-6	TEL (03) 3669-8118
支店	支店	〒461-0025	名古屋市中区	徳川	1-11-23	TEL (052) 935-8531
支店	支店	〒553-0004	大阪市福島区	玉川	1-3-18	TEL (06) 6444-2031
支店	支店	〒733-0035	大阪市西区	南観音	7-11-24	TEL (082) 291-6331
支店	支店	〒812-0006	福岡市博多区	上牟田	1-5-1	TEL (092) 411-5416
支店	支店	〒020-0824	宇都宮市東	安庭	2-10-3	TEL (019) 621-3541
支店	支店	〒321-0933	宇都宮市	篠瀬	町 2313	TEL (028) 636-3012
支店	支店	〒277-0871	柏市若柴	297	-12	TEL (04) 7132-1500
支店	支店	〒190-0022	立川市錦町	5-17	-19	TEL (042) 528-3051
支店	支店	〒310-0043	戸市松ヶ丘	2-3	-27	TEL (029) 255-3761
支店	支店	〒433-8117	水戸市高丘	東 2-22	-15	TEL (053) 439-3300
支店	支店	〒650-0017	神戸市中央区	楠町	6-2-4	TEL (078) 367-1580
支店	支店	〒891-0115	鹿児島市	東開	町 3-24	TEL (099) 269-5347
支店	支店	〒955-0081	三条市東	裏館	2-14-28	TEL (0256) 34-2112
支店	支店	〒371-0844	前橋市古市	町 233	-5	TEL (027) 210-7755
支店	支店	〒331-0823	さいたま市	北区日進	町 3-421	TEL (048) 651-5341
支店	支店	〒284-0001	四街道市	大日	1870-1	TEL (043) 422-7400
支店	支店	〒241-0822	横浜市旭区	さちが丘	7-6	TEL (045) 364-5661
支店	支店	〒399-0033	本巣市	笹賀	8155	TEL (0263) 26-4377
支店	支店	〒381-2247	長野市青木	島 1-35	-1	TEL (26) 285-6740
支店	支店	〒422-8036	静岡市駿河区	敷地	1-3-26	TEL (054) 237-6116
支店	支店	〒921-8061	金沢市森戸	2-15	-15	TEL (076) 240-1871
支店	支店	〒930-0827	富山市上飯野	字 樋向	割 10-8	TEL (076) 452-0182
支店	支店	〒918-8237	福井市和田	2-1711	-1	TEL (0776) 27-3378
支店	支店	〒612-8414	京都市伏見区	竹田段ノ川	原 9	TEL (075) 645-5061
支店	支店	〒700-0971	岡山市野田	3-23	-28	TEL (086) 246-9516
支店	支店	〒761-8056	高松市上天神	町 761	-3	TEL (087) 866-5599
支店	支店	〒770-0863	徳島市安宅	2-4-46	-4	TEL (088) 623-0286
支店	支店	〒790-0951	松山市天山	2-1-35	-35	TEL (089) 913-0608
支店	支店	〒060-0041	札幌市中央区	大通東	6-12-8	TEL (011) 231-6487
支店	支店	〒984-0002	仙台市若林区	卸町東	2-1-29	TEL (022) 237-0778
支店	支店	〒370-0031	高崎市上大類	町 412	-1	TEL (027) 350-7820
支店	支店	〒331-0823	さいたま市	北区日進	町 3-421	TEL (048) 667-6448
支店	支店	〒461-0025	名古屋市中区	徳川	1-11-23	TEL (052) 935-8210
支店	支店	〒553-0004	大阪市福島区	玉川	1-3-18	TEL (06) 6446-0815
支店	支店	〒733-0035	大阪市西区	南観音	7-11-24	TEL (082) 291-5670
支店	支店	〒812-0006	福岡市博多区	上牟田	1-5-1	TEL (092) 451-6430

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) 0120-228-358

月～金曜日 午前9時～午後6時

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。